ダウンロード・データあります

第3章 クイズ・アプリケーションを例に…
正解/不正解の効果音をMCPサーバで再生する

はじめての MCP×AIアプリ作り

ご購入はこちら

奥村 義和

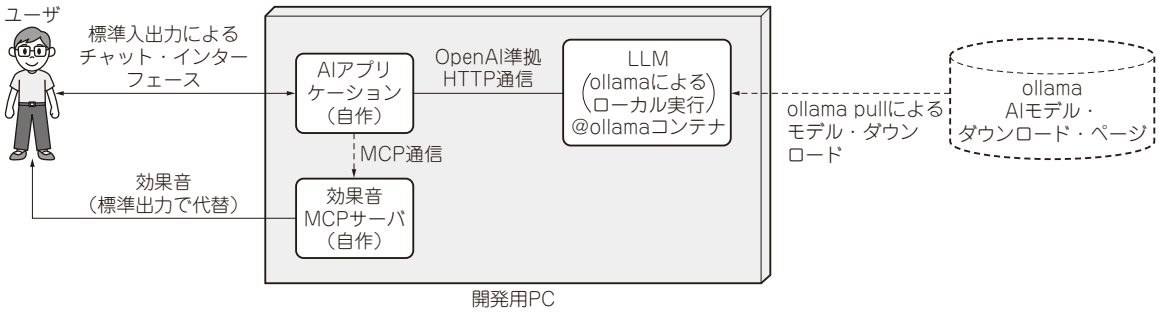

図1 実験のシステム構成

表1 筆者の実験環境

項 目	詳 細
ハードウェア	Core Ultra 7155H，RAM 32Gバイト，GPUなし
ソフトウェア	Ubuntu 24.04 x86_64 (Windowsでも動作確認済み)，Python3.12.3

本章では，簡単なAIアプリケーションをMCP (Model Context Protocol) で作成します．ここではユーザにクイズを出題し，正解/不正解を効果音とともに通知するAIクイズ・アプリケーションを考えてみます．

実験環境

システム構成を**図1**に示します．筆者の環境は**表1**の通りです．

● ハードウェア

必要なものはPCとインターネット接続環境だけです．PCについては，CPUのみで動作します．ただし，LLM (Large Language Models) の実行にやや時間がかかります．メモリは16Gバイト以上が必要です．

● ソフトウェア

Python3環境が必要です．

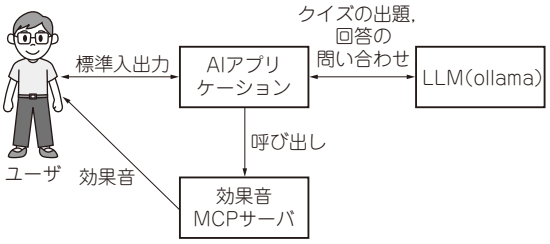

図2 本章で作成するクイズ出題AIアプリケーションの構成

AIアプリの仕様

今回作るAIアプリケーションの構成は**図2**の通りです．

● 動作概要

動作は次の通りです．

- AIアプリケーションはユーザにLLMが生成したクイズを提示
- ユーザは回答を標準入力，AIアプリケーションは正解/不正解をLLMに問い合わせ
- LLMは正解/不正解を返却，状況に応じて効果音再生を指定(オプション)
- 効果音再生指示がある場合，AIアプリケーションは効果音MCPサーバに対して効果音再生を依頼